



1.2 サークル研修
▶自己研修評価及びリーダーシート分析

大豊岐阜 一体化決起式



大豊工業株式会社

第113期 期末報告書

2018.4.1~2019.3.31

CONTENTS

- 株主の皆様へ
- 決算概要
- 2018年度トピックス
- 連結業績ハイライト
- 株式概況 / 会社概況

証券コード 6470

大豊工業株式会社



松竹梅寄せ植え鉢製作ボランティア

株主の皆様へ

日頃より大豊工業ならびに大豊グループ各社に格別のご支援をいただき、誠にありがとうございます。2018年度の期末報告にあたり、ごあいさつ申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、前年に引き続き世界貿易量の伸びを背景に緩やかな回復を続けてきました。一方で米中貿易摩擦等、保護主義的な動きの拡大や国家間の対立が先鋭化した1年となり、景気の減速感が出てきております。

自動車業界においては上半期では欧米、中国、アジアの各市場が堅調に伸長しましたが、後半期の景気減速を背景に、中国の新車販売台数が28年ぶりに前年割れとなり市場の乱れが見られました。長期的には中国の新車販売台数は3,000万台を突破し自動車市場をけん引すると予測されますが、当面、貿易摩擦により不透明な状況が続くと思われまます。

【2018年度の業績】

連結売上高は1,134億円となり、12億円の減収となりました。軸受製品では、中国市場の減速とコンプレッサ軸受の売上減により、前期比16億円の減収となりましたが、システム製品、ガスケット製品、ダイカスト製品の販売拡大により、自動車部品事業は6億円の増収となりました。一方で、自動車製造用設備関連事業では、主要な客先の大規模なモデルチェンジが一段落したため大幅な受注減となり、18億円の減収となりました。これにより利益面では経常利益47億円となり前期比20億円の減益となりました。

「VISION 2020」

「地球環境とお客様への貢献」

2018-2020年度中期経営方針

「ゆるぎない『信頼と技術』でグローバルに躍進」

- 技術・品質・原価の徹底追求により、世界トップの競争力を持つ企業となる。
- 人財・組織づくりとリソースの最大活用により、グローバル基盤を更に強化する。

【2018年度の主な取り組み】

今年度は「2016-2018年度中期経営計画」の最終年度として、下記の取り組みを推進してまいりました。

(1)革新的な技術開発

「スマートライン」コンセプトのエンジン用軸受加工ラインを開発。従来ラインに比べ約1/3の省スペース化と、さらなる効率化を実現しました。

(2)グローバル基盤の強化

今後の中国市場の発展に向け、中国T C Yで第3工場を竣工しエンジン用軸受の生産スペースを拡大しました。また軸受素材メーカーW B Mではアルミ鋳造ラインを導入し、素材から加工までの完全一貫生産体制を構築。さらなる競争力強化を図ります。

(3)人財力の強化

「燃える職場・社員総活躍プロジェクト」の一環として、ダイバーシティ推進のための「元気shine(輝く×社員)プロジェクト」を開始。誰もが働きがいのある働きやすい職場づくりを目指し着実に実現してまいります。

【2019年度に向けて】

堅調に成長を続けていた世界経済ですが、2019年では貿易摩擦の行方や消費税増税など、国内外で多数の懸念材料が存在しており、以前として視界が晴れません。通期予想につきましては、主力の軸受製品で引き続き中国市場の不透明な状況が続くと予想しております。また自動車製造用設備の低迷は今期も継続するものと予想し、売上高1,100億円、経常利益33億円、当期純利益22億円を見込んでいます。このような極めて厳しい経営環境ではありますが、海外の成長市場回復に合わせ、売上高増とさらなる合理化と経費削減に努め、グループの総力を挙げ収益向上を推進いたします。

2019年6月

代表取締役社長 **杉原 功一**



決算概要

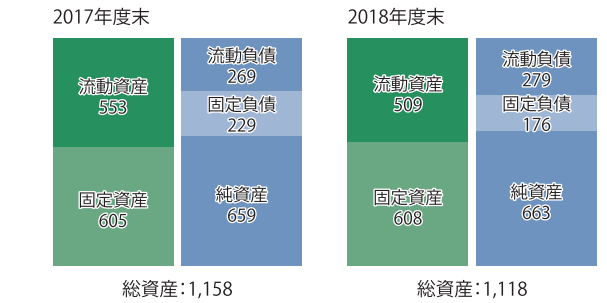
連結損益計算書

(単位:億円)

科目	2018年度	2017年度
売上高	1,134	1,146
営業利益	48	68
経常利益	47	67
税金等調整前当期純利益	47	68
親会社株主に帰属する当期純利益	30	42

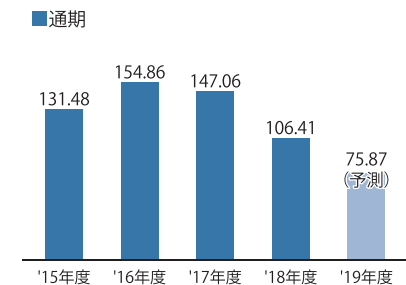
連結貸借対照表(要旨)

(単位:億円)



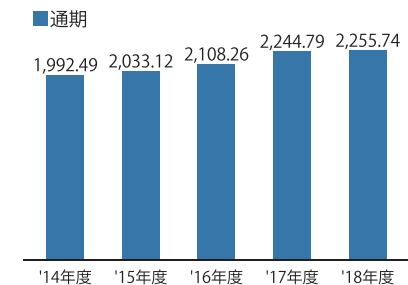
1株当たり当期純利益

(単位:円)



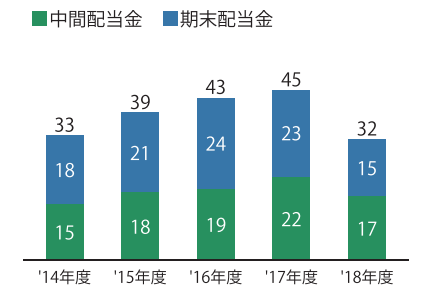
1株当たり純資産

(単位:円)



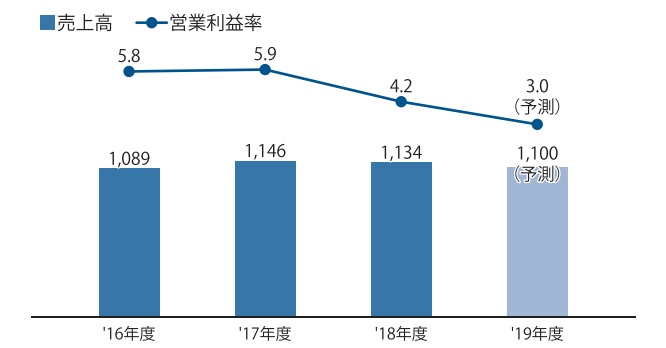
1株当たり年間配当金

(単位:円)



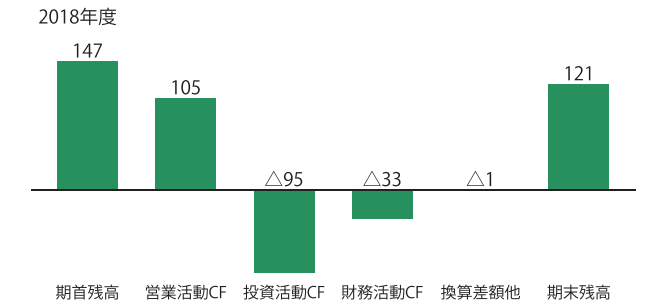
売上高/営業利益率(連結)

(単位:億円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:億円)



■グローバル供給を支える製造・生産技術

- 次世代加工ライン開発で競争力強化



生産性を向上させた「スマートライン」コンセプトの軸受加工ラインを開発しました。

- 大豊岐阜一体化



当社は100%子会社の大豊岐阜(株)を吸収合併しました。スリム化と生産性向上により、国内最大の生産拠点を目指します。

- 中国生産拠点の拡大



中国メーカーの受注増に対応するため、TCYに第3工場を建設しました。

- 中国で高品質軸受材料を製造開始



WBMに軸受材料用アルミ製造ラインを導入し、高品質なアルミ合金軸受材料の製造が可能となりました。

■VISIONを実現する人財づくり

- 働き方改革

働き方改革の一環として推進している“元気shine(輝く×社員)プロジェクト”では、誰もが働きがいのある働きやすい職場を目指し、女性活躍に向けた活動を始動しました。モチベーション向上の施策検討、管理者の拡大、ディスカッション定例会に取り組んでいます。



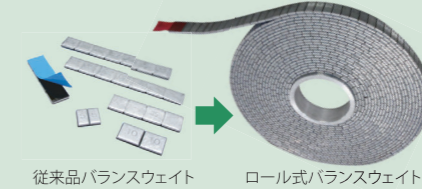
■地球環境に貢献するイノベーション

- 軸受用次世代加工ラインの開発



従来の発想から脱却した作り方、新技術を駆使したエンジン軸受加工ライン「スマートライン」コンセプトの開発が評価され、技術開発賞を受賞しました。

- 新型バランスウェイトの開発・量産



ロール式バランスウェイトと自動供給設備の開発により、従来品25品番を1品番に削減、自動化による工数低減が評価され、部品標準化賞を受賞しました。



- パイプ曲げ成型機のシンプルスリム化を実現



当社社会の大豊精機が開発したコンパクト電動パイプ曲げ成型機が評価され、技術開発賞を受賞しました。なお、大豊精機の技術開発賞受賞は今回で5年連続となります。

■企業PR・CSR活動の取り組み

- 大豊工業トライボロジー研究財団国際シンポジウム



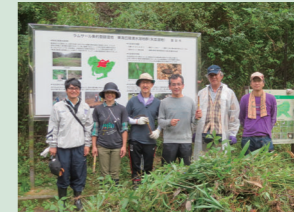
4月18日、名古屋国際会議場で、トライボロジー国際シンポジウムを開催。

- 名証IRエキスポ



7月20・21日、名古屋市吹上ホールで“名証IRエキスポ2018”に出展しました。当社の事業活動の説明を行い、個人投資家との活発な交流を行いました。

- 矢並湿地保全活動



ラムサール条約*に登録されている矢並湿地で、2月と9月に開催される保全活動を、地元の方々とともに行いました。

* 貴重な動植物の生態系を保護するための国際条約

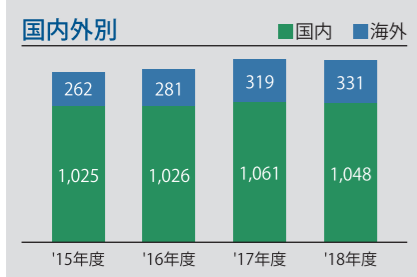
- 豊田市教育委員会がボランティア活動を表彰



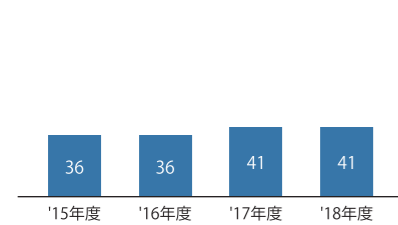
当社が15年間にわたり開催している“ダーツ大会”ボランティアが、障がい者のスポーツ振興に寄与したとして、豊田市教育委員会から表彰を受けました。

連結業績ハイライト

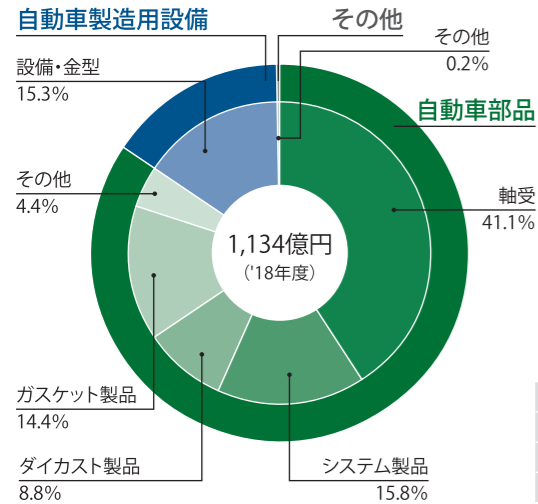
地域別売上高



欧州

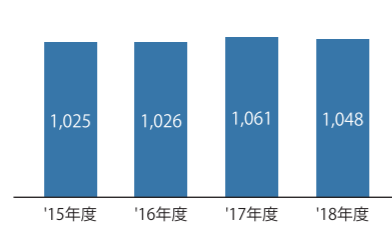


事業別売上高

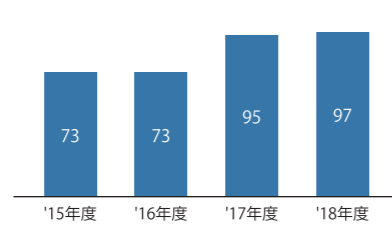


※連結消去前 (単位:億円)

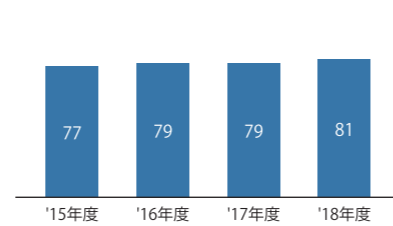
日本



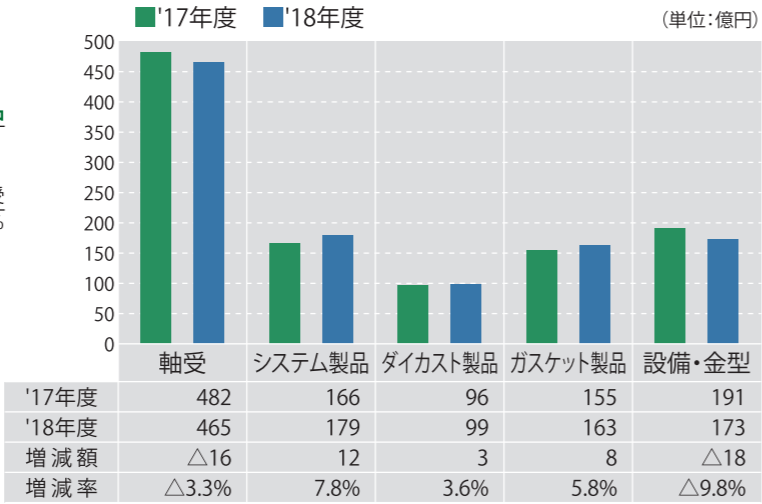
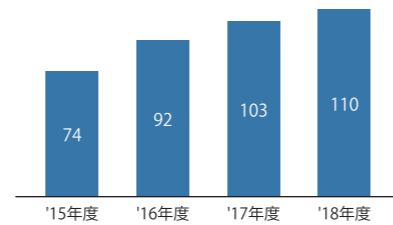
中国



北米



アジア



株式概況 (2019年3月31日現在)

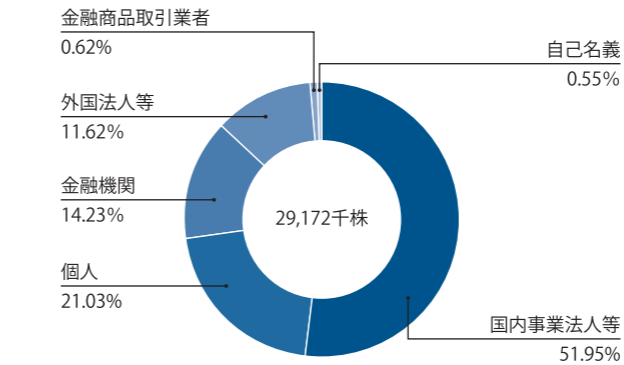
株式の状況

発行可能株式総数	48,400千株
発行済株式の総数	29,172千株
株主数	4,134名

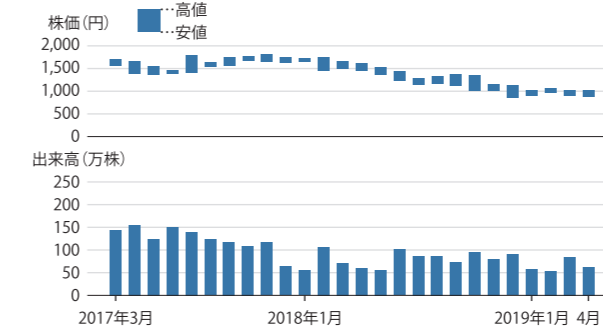
大株主 (上位 5名)

株主名	持株数 (千株)
トヨタ自動車株式会社	9,676
株式会社豊田自動織機	1,427
日本発条株式会社	1,344
豊田通商株式会社	1,071
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	992

所有者別株式分布状況



株価の推移



会社概況 (2019年3月31日現在)

会社概要

創業 1944年12月
 資本金 67億1千2百万円
 従業員数 連結:4,460名 単体:1,720名
 本社所在地 〒471-8502 愛知県豊田市緑ヶ丘3-65
 TEL (0565) 28-2225 (代表)
 事業内容 軸受および軸受素材、ダイカスト製品、ガasket製品、システム製品、設備、金型などの製造販売

事業所および営業所

本社/本社工場 (愛知県豊田市)
 細谷工場 (愛知県豊田市)
 篠原工場 (愛知県豊田市)
 九州工場 (鹿児島県出水市)
 幸海工場 (愛知県豊田市)
 東京営業所 (東京都中央区)
 大阪営業所 (大阪府大阪市)

国内子会社

大豊精機株式会社 (愛知県豊田市)
 日本ガasket株式会社 (愛知県豊田市)
 大豊岐阜株式会社 (岐阜県可児郡御嵩町)
 株式会社ティーイーティー (愛知県春日井市)
 株式会社タイハウライフサービス (愛知県豊田市)

主な海外子会社

タイハウ コーポレーション オブ アメリカ (アメリカ)
 タイハウ ヌサンタラ株式会社 (インドネシア)
 タイハウ コーポレーション オブ ヨーロッパ 有限会社 (ハンガリー)
 韓国大豊株式会社 (韓国)
 大豊工業 (煙台) 有限公司 (中国)
 タイハウ コーポレーション オブ タイランド (タイ)
 常州恒業軸瓦材料有限公司 (中国)

取締役 (2019年6月11日現在)

代表取締役社長 杉原 功一
 代表取締役副社長 鈴木 徹志
 専務取締役 佐藤 光俊
 専務取締役 河合 信夫
 専務取締役 吉井 利治
 専務取締役 大河内光人
 社外取締役 榎本 祐嗣
 社外取締役 佐藤 邦夫

執行役員 (2019年6月11日現在)

常務執行役員 原田 淳
 常務執行役員 岸 吉信
 常務執行役員 岩井 晋一
 常務執行役員 加納 知広
 常務執行役員 出崎 亨
 常務執行役員 粟津 滋喜
 執行役員 小笠原邦彦
 執行役員 磯谷 信宏
 執行役員 延川 洋二
 執行役員 中根 鋭二

監査役 (2019年6月11日現在)

常勤監査役 都甲 仁
 社外監査役 橋爪 秀史
 社外監査役 近藤 禎人
 社外監査役 安田 益生

■ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部
ホームページ	http://www.taihonet.co.jp/

● 株式関係のお手続きについて

1. 株式関係のお手続きにつきましては、お取引先の証券会社までご連絡ください。また、特別口座で管理されている株につきましては、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

